

## 児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

公表日： 令和3年 1月 22日

事業所名： フラープ

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
環境・体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	各活動に応じて場所の移動をし、工夫した使い方をしている	(ご意見なし)	密にならないようグループ分けをしてスペースの確保をしていく
	2 職員の適切な配置	できている		適切な配置をしている
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障害の特性に応じた設備整備	段差にはマット、玄関の段差には踏み台を置く	・古民家で最初、不安もありましたが、改善に努めて下さっているように思います。	保護者の意見も聞き、安心安全な環境を心がけていく
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	毎日、清掃・消毒を行い、環境を整えている	(ご意見なし)	除菌等をして清潔にするよう心がけている
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	つとめている	/	現状維持で継続していく
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	実施できていない	/	実施していません
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	研修への参加、また研修報告を行っている	/	これからも継続していく
適切な支援の提供	1 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	親との面談、子どもの様子を話し合い、計画をたてている	・計画の説明の際、聞き取りをして頂きました。	面談や日頃の聞き取りの中で課題を見つけ計画を立てていく
	2 子どもの状況に応じ、かつ個別活動と集団活動を適宜組み合わせ合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	職員で話し合いをして行っている		様々なことに対応できるよう職員間で話し合っていく
	3 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	配慮することを職員で周知し、日誌にも書いている	(ご意見なし)	今後も日誌に記入する

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
適切な支援の提供(続き)	4	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	支援計画を考慮しながら行っている	(ご意見なし)	継続して、支援計画を考慮しながら行っていく
	5	チーム全体での活動プログラムの立案	園会議を行う	<ul style="list-style-type: none"> <li>・色々な事が経験できて、それに対し向上できていると思います。</li> <li>・色々な経験をさせてもらっています。季節に応じたプログラムも楽しんでいます。</li> </ul>	色々な経験ができる楽しいプログラムをみんなで話し合い立案する
	6	平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	要望に添えるよう努力している		夏休みや土曜日など、時間に余裕がある時にしか出来ないことを工夫して活動する
	7	活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	スタッフ間で提案しながら、新しいものを取り入れる工夫をしている		スタッフ皆で話し合い新しいものを取り入れるよう考えていく
	8	支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	朝活を日々行う中で、確認を行っている		日々の打ち合わせを大事にする
	9	支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	反省会を毎日し、内容を記録している		<p>今後も継続して、毎日反省会をしその日のうちにしっかり話し合いをし、次回につなげていく</p> <p>休んだスタッフにもしっかり伝える</p>
	10	日々の支援に関しての正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	反省会の中でしている		今後も継続していく
	11	定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	半年に1回の支援計画に向けて行っている		定期的なカンファレンスを実施していく

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
関係機関との連携	1	子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議へり参画	行っている		今後も継続していく
	2	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施	利用なし		利用者なし
	3	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備	利用なし		利用者なし
	4	児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有	共有している		必要に応じて連携会議を持つようにしていく
	5	放課後等デイサービスからの円滑な移行支援のため、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所等に対するそれまでの支援内容等についての十分な情報提供	あるのであれば、連携会議に参加していく		父母会において、卒業後の進路先の見学をしていく
	6	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	案内が届き次第、職員へ配布、受講も勧める		積極的に研修へ参加するようにしていく
	7	児等発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会の提供	特になし	・知らないだけかもしれませんが、今のところないようです。 ・最近クラスに入ったことと新型コロナウイルスの影響があると思うのでわからない。	地域との交流の場が持てるように働きかけていく
	8	事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	特になし	(ご意見なし)	地域との交流の場が持てるように働きかけていく

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
保護者への説明責・連携支援	1	支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	契約時に伝える。変更があればその都度伝える	(ご意見なし)	今まで通り契約時に丁寧に説明する
	2	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	半年に1回、面談しながら伝える	(ご意見なし)	今まで通り、面談を半年に1回取り、何かの必要性があればその都度話をする場を作る
	3	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	保護者の集まる企画を実施 (新型コロナウイルスの状況で今はできてない)	・勉強会をして頂き、ありがとうございます。 ・もう子どもが大きいのでは必要ないのかと思う。	新型コロナウイルス感染症の様子をみつつ、実施していきたい
	4	子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	連絡帳で伝えたり、送迎時においても情報交換している	・いつも送迎時に色々話を聞いて頂けて助かっています。	連絡帳で伝えたり、送迎時での話の中で伝えていく
	5	保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	相談があれば速やかに対応している	・適宜アドバイスがあり、いつでも話しかけやすいような関係を作っていただいています。	相談があれば、電話や面談で速やかに対応する
	6	父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	交流会は新型コロナウイルスの状況で自粛している	・新型コロナウイルスが落ち着いたら、ママ会を楽しみにしています。 ・今は新型コロナウイルスでおひさま会がないのでとても寂しいです。また、そろそろおひさま会の計画をしてください。 ・感染症で様々なことが自粛となっていますが、落ち着いた頃に期待しています。	母子保育の際にお話会を実施している 新型コロナウイルス感染症が落ち着いたらママ会などを実施していきたい
	7	子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	苦情の対応体制は整えている、対応も速やかにできるようにしている	・そもそも苦情を耳にしたことがありません。	苦情があれば話を聞き、すぐに対応していく
	8	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	ラインやメール、手紙等で行う	・個人面談が定期的であればいいと思います。	情報伝達は速やかにする
	9	定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	SNSでの発信、月1回のお便り	(ご意見なし)	毎月のフラープだよりの発行、ブログも定期的に更新する。
	10	個人情報の取扱いに対する十分な対応	新しく入られた時、新年度には必ず同意の許可をもらっている	(ご意見なし)	同意をもらい適切に取り扱っていく。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
非常時等の対応	1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	感染症用（バケツにナイロン袋、手袋、新聞を用意） 消毒を各部屋に配置している	・どういったものがあるか知りません。	感染症対策をしっかりとっていく（バケツにナイロン袋、手袋、新聞を用意している） 消毒も所々に配置し、適時消毒の対応していく。
	2	非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	定期的にやっていく	・どういったものがあるか知りません。 ・週1の母子保育の為、その他の平日にされているかもしれないので、わからない。	母子保育時にも避難訓練を実施し、保護者にも一緒に参加してもらい流れを知ってもらう
	3	虐待を防止するための職員研修機の確保等の適切な対応	研修案内の発信、報告会を行う		子ども達の小さな変化を見逃さないようにし、情報を収集していく
	4	やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	やむを得ない場面があれば、前もって保護者にお話し、家族の了解を得て行う		そのような場面がある時には、前もって保護者にお話し、そして家族の了解を得て行うようにする
	5	食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	アレルギー等は親の確認の元、行っている（児童発達支援の給食において）		調査票に記載してもらい対応する
	6	ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	共有できている		継続して共有する